

第3学年2組 保健体育科学習指導案

指導者 笠立 孝彰

1. 単元名 ベースボール型「ソフトボール」

2. 指導観

- 本単元では、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。その際、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにすることが大切である。ベースボール型での第3学年では易しい投球に対する安定したバット操作により出塁・進塁・得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防を展開できるようにする。ソフトボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにすることをねらいとする。
- 本学級の生徒は、男子21名、女子16名の37名である。事前アンケートでは①体育は好きですかの質問に対して、「好き」、「やや好き」と回答した生徒が90%であり、ほとんどの生徒が関心を持っている。また、②野球やソフトボールをしたことがありますかの質問に対しては、男子生徒では52%の半数の生徒がしたことあると答えたのに対し、女子生徒7%とほとんどの生徒がしたことがないという回答であった。テレビで見たり、観戦をしたことがあっても実際にバットを握ったことがない、グローブを着けたことがない、経験差が男女間ではげしいこと、経験が全くないという生徒がいる。そのため、本単元では基本的なバット操作や捕球動作の定着が必要である。また、ソフトボールへの興味や関心を高めるために簡易的なゲームを行い、ソフトボールの楽しさを実感させたいと考えている。
- 指導にあたっては、ソフトボールの楽しさや競技スポーツとしての奥深さなどを伝えながらも、基本である、打つ（打撃）・捕る（捕球）・投げる（送球）・走る（走塁）の4つの技能を確実に定着させたいと考えている。グループ活動やチーム編成では野球経験者と未経験者、体力差などを考慮する。グループ活動やゲームを行う際にチームとして、お互いが協力したりサポートしていくために話し合い活動の時間をつくり、教え合ったり、励ましあう姿が見られるようにしたい。また、競技方法やルールを身に付け、生涯スポーツとして地域や職場のイベントなどにも積極的に運営や参加することのできるような生徒を育てたい。

3. 目標

運動への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ソフトボールの学習に積極的に取り組み、フェアなプレイを大切にしようとする。 ○分担した役割を果たそうとしたり、作戦などについての話合いに参加しようとしたりとする。 ○仲間の学習を援助するとともに、健康・安全に留意しようとする。
運動についての 思考・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ボール操作や定位置に戻るときの動きを身に付けるために必要な運動の行い方のポイントを見付けることができる。 ○自己やチームの課題を見付け、提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶことができる。 ○仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けることができる。 ○学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめることができる。
運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> ○攻防を展開するための基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 ○基本となる技能を用いた簡単なゲームで攻防を展開することができる。
運動についての 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ○競技の特性や成り立ちや技術の名称や行い方について理解する。 ○競技に関連して高まる体力や試合の行い方について理解する。

4. 指導計画と評価計画（総時数 12 時間 本時は 3 時間目）

主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点	評価規準及び評価方法
1 試しのゲームを行う。 （工夫したルール） <ul style="list-style-type: none"> ・ティーボールゲーム ・ツーアウトチェンジ ・盗塁なし （1 時間目）	<ul style="list-style-type: none"> ○工夫したルールや用具でゲームを行うことによって、ソフトボールの特性に触れ、勝敗を競う楽しさを味わわせる。 ○バットやボールの危険性を理解させ、安全にゲームや練習ができるようにする。 	<p>【関】 積極的にゲームに取り組もうとしている。（行動観察）</p> <p>【思・技】 安全に留意してゲームを行っている。（行動観察・学習カード分析）</p>
2 基本的なバット操作を身に付け、攻撃を中心としたゲームを行う。 （1）基本的な技能の練習 <ul style="list-style-type: none"> ・素振り ・ティーバッティング （2 時間目） <ul style="list-style-type: none"> ・<u>トスバッティング</u> <本時 3 / 1 2 >	<ul style="list-style-type: none"> ○水平なバットスイングをすることによって、ボールを確実にとらえることができるようにする。 	<p>【技】 トスされたボールを確実にとらえることができる。（行動観察）</p> <p>【思】 自分や仲間の課題を発見し、その修正方法について具体的に表現できている。（発言分析）</p>

<p>(2) 攻撃を中心のゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ティーボールゲーム ・各打者カウントツーボールワ ンストライクから ・ツーアウトチェンジ ・盗塁なし ・走者は、打者が打ってから塁 を離れる。 ・チームミーティング <p>(4時間目)</p>	<p>○工夫したルールでゲームを 行う事によってルールを理 解させ、勝敗を競う楽しさを 味わうことができるように する。</p> <p>○チームミーティングの時間 を確保し、互いのよさを伝 え、課題解決に向けて教え合 い、協力して練習できるよう にする。</p>	<p>【知】 ソフトボールの特性やルー ルについて言うことができる。 (発言分析)</p> <p>【思】 自分や仲間の良さに気がつ き、課題の克服方法について、 具体的に表現できている。 (発言分析)</p>
<p>3 基本的なボール操作を身に 付け、守備の基本的な動きを生 かしたゲームを行う。</p> <p>(1) 基本的な技能の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボール ・ゴロとフライのキャッチ <p>(5時間目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール回し ・ノック <p>(6時間目)</p>	<p>○確実に捕球させるために、体 の正面でグラブにきき手を 添え、打球の正面に入るこ とを意識できるようにする。</p>	<p>【技】 打球の正面に入り、確実に 捕球することができる。 (行動観察)</p>
<p>(2) 簡単なルールでのゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピッチャーは、緩いボールを 投げる ・各打者カウントツーボールワ ンストライクから ・ツーアウトチェンジ ・盗塁なし ・走者は、打者が打ってから塁 を離れる。 <p>(7時間目)</p>	<p>○工夫したルールでゲームを 行う事によって、マナーを理 解させ、勝敗を競う楽しさを 味わうことができるように なる。</p>	<p>【関】 相手を尊重し、積極的にマ ナーを守ろうとしている。 (発言分析)</p>
<p>4 リーグ戦で身に付けた技能 を生かしたゲームを行う。</p> <p>(1) 総当たりリーグ戦をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピッチャーは、緩いボールを 投げる。 	<p>○工夫したルールで、ゲームを 行う事によって、フェアプレ イを意識させ、勝敗を競う楽 しさを味わわせる。</p>	<p>【関】 フェアプレイを意識してゲ ームに取り組もうとしている。 (行動観察・学習カード分析)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・各打者カウントツーボールワ ンストライクから ・スリーアウトチェンジ ・盗塁なし ・走者は、打者が打ってから塁 を離れる。 ・審判は攻撃側が行う。 ・記録，表彰 (8, 9, 10, 11 時間目) <p>(2) まとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの整理 (12 時間目) 	<p>○場面によっては、ゲームを止 め、解説や状況判断を投げか けるなどの指導を行い、ソフ トボールに関する思考・判断力 を高める。</p> <p>○学習カードをきちんと書か せて、ソフトボールの授業を 振り返る。</p>	<p>【関】 ルールやマナーを守り、フ ェアなプレイ等をほめ合おうと している。(行動観察)</p> <p>【技】 投げる，打つ，捕る，走る などの基本的な技能をゲームで 発揮することができる。 (行動観察)</p> <p>【知】 ソフトボールの特性や技能 の名称を理解している。 (学習カード分析)</p>
---	---	---

5. ICTの活用について

本時におけるICTの活用場面

	活用場面	活用方法・ポイント	期待される子どもの姿・力
①	<p>グループ活動でのトスバッ ティングを動画で撮影する場 面。 (タブレットPC)</p>	<p>グループ内で交代して、ボ ールを打つ場面を動画で撮影 し、グループ全員の動画を保 存させる。グループ内で見せ 合い、課題を発見させる。</p>	<p>動画を撮影し、グループ内で見せ 合い、自身や班員の課題を掴もうと 思考し、理解が深まる。気づいたポ イントをわかりやすく伝えること ができる。</p>
②	<p>グループ活動でのトスバッ ティングの課題をワークシー トに記入し、教師用タブレット に送信する場面。 (タブレットPC) (大型テレビ)</p>	<p>見本の動画と班員の動画を 比較させ、課題①～③のどれ が当てはまるか、話し合う活 動を通して考えさせる。</p>	<p>グループで話し合いながら、各自 の課題をチェックし、グループ全員 が自分の課題を把握することがで きる。</p>
③	<p>最も多かった課題に対する 解決方法の映像を見る場面。 (タブレットPC) (大型テレビ)</p>	<p>大型テレビと班員のタブレ ットPCに同時に動画を配信 することで、生徒はより近く で視聴することができる。</p>	<p>課題に対する修正方法をよりよ く理解し、自らの課題解決に向けて 積極的に取り組もうとする態度を 育てることができる。</p>

6. 本時の学習 令和元年 9月27日(金) 5校時 体育館

- (1) 主眼 バッティングでピッチャーから投げられたボールを打てる確率を上げるために自分自身の課題を見つけ、修正方法をグループで深め合い、今後のゲーム活動で生かすことができるようになる。
- (2) 準備 大型テレビ1台 タブレットPC (教師用1台, 生徒用6台) ソフトボール バット
- (3) 展開

	主な学習活動・内容	○指導・支援上の留意点 【観点】評価規準(評価方法)
導入	1. 本時につながるアップを行う。 *音楽を流しながらソフトボールに必要な準備運動を行う。	○本時につながる運動を積極的に行うように呼びかけをす る。 ○それぞれのアップのポイントをしっかり押さえて行わせる。
	2. 本時の流れの確認	
めあて：グループで練習や話し合いをして自分の課題を見つけ、修正方法を深めよう。		
展開	3. 6人1グループで6班作り、分かれてトスバッティングを行う順で行う。 ・1人3球打ち最後の3球目で動画を撮影。 *タイマーを使い全グループ同時進行で10秒カウントごとに打っていく。それをグループ内でローテーションしていく。	○動画の撮影方法とトスバッティングの方法を説明する。 ○グループでそれぞれ役割を分けて行わせる。 動画を撮影する：1人 ボールを打つ：1人 トスを投げる：1人 ボールを拾い：2人 課題を探る：1人 <活用①>
	4. グループ活動の中で撮影した動画と見本の動画を比較し、自分の課題を①～③でどれに該当するか、チェックする。 ①前に突っ込む ②速く開く ③腰が動かない *各グループのタブレットPCに配布されたワークシートを完成させ、教師用タブレットPCに送信する。	○グループで撮影した動画と見本動画を比較させ、①～③のどれに該当するか必ずチェックさせる。複数チェックがついても良いことを伝える。 ○班員全員の課題をワークシート①に記入するように促す。 <活用②>
まとめ	5. ①～③の課題の中で最も多い課題のみ、大型テレビで修正練習を提示し、グループで練習する。 *①～③の中で最も多い課題の修正練習のみ行う。	【思】自分や仲間の課題を発見し、その修正方法について具体的に表現できている。(発言分析) ○大型テレビを使い、①～③のうち最も多かった課題を修正するための練習法を提示し、グループで練習をさせる。その際、課題に該当しない生徒は、班員にアドバイスをするなど、班で協力して全員が課題解決に向かうよう、支援する。 <活用③>
	6. 振り返りと次回の予告 ①今回の修正練習がうまくいかない理由に気づき、もう一度自分の課題を把握する。 ②次回の授業の説明を聞く。	○修正練習を行い、うまくいかない理由を説明し、より自分の課題を意識させる。
まとめ：班で協力し自分の課題を見つけ、修正練習に取り組み、よりよい課題の解決方法を考えることができる。		

